

瀬部小だより 6月号

平成19年6月5日



1 SBMBについてのご意見・・・ある保護者の手紙から

「子どもたちの登下校の安全確保に、毎日、毎日、暑い日も寒い日もどんな悪天候の時も活動をしていただき、私は本当に感謝しております。

活動の時間は長いものではありませんが、一日2回、毎日と言うのはとても大変なことですし、また活動すると言う責任、その時その時の緊張感は気の引き締まる思いだと思います。

こどもが「ただいま！」と元気な声で帰ってくると、私は「ああ、今日も無事に帰ってきてくれたと思うのと同時に、見守りボランティアの皆様、先生、お兄さん、お姉さん今日もありがとう、ご苦労様でしたと心の中で思う次第です。

見守りボランティアの再募集用紙をいただいて、私もぜひ参加したい、協力したいと思いました。自分たちの子どもなんだから、自分たちがやらなければならないという気持ちでいっぱいです。

しかし、**毎日のこととなると私にも仕事がありますし、小さな子どももいます。となると、ボランティアの参加できません。**また、近所の方ともお話をしましたら、やはり、「毎日は無理だよねえ」と言われました。

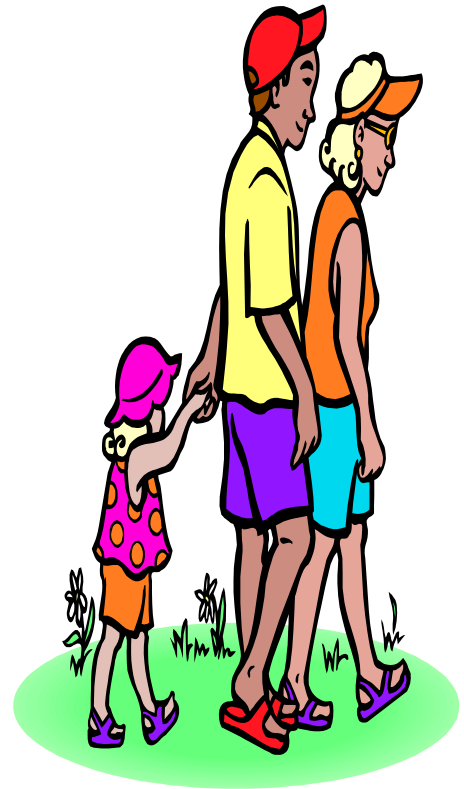
私の近所にも数箇所、危険な場所があり、もし子どもに何かあったらと思うと、とてもこわいですし、あってからでは遅いと思うので、**今はできるだけ危険な場所まで送り迎えをするようにしています。**

子どもが安全に登下校するというのは、子ども自身が自覚を持つことが一番大切ですが、今この世の中、何が起きるか分からない時代になってしまい不安でなりません。

見守りボランティアですが、一人でも多くの方に協力していただけるよう、毎日でも週に1回でも2回でも参加できるような募集の仕方をしてみてはいかがでしょうか。

私も毎日でなくてもということであれば、ぜひ参加したいと思ひますし、近所の方にも声をかけたいと思ひますが・・・。一人でも多くの方に参加していただくためにご提案いただければと思ひます。」(この手紙は原文どおりではありません。)

【コメント】 **不定期や、できる日にボランティア活動をしてくださって見える方もいます。その旨を申し添えてくださって、ご参加いただけるとありがたいと思ひます。**



2 「5年3組に不審者侵入！」不審者対策避難訓練<6月1日(金)>



「5年3組に不審者侵入！」の想定で実施されました。職員が不審者に扮しての演技です。1階部分は第一に被害にあいやすいところだからです。本校の場合、1階に普通教室があるのは、5年3組だけです。10時の不審者侵入の情報が職員室に届くと同時に、男性職員が中心になって犯人逮捕に向かいます。子どもたちは、「臨時集会を運動場で行います」の緊急放送で、犯人の被害が及ばない通路を通過して運動場に避難しました。

担当の教師からは、「その場で避難方法を考え」「不審者から離れこと」と話がありました。校長からは、「いつもの火災や避難訓練と同じように、

オ(おさない)・ア(あわてない)・シ(しゃべらない)・ス(すみやかに)を学校で身につけてほしい。それが、学校に不審者が侵入した時も役立つこと」「学校以外で、不審者に出会ったときも、ブザーや笛をいつも身につけていることが大切だ」と講話がありました。ご家庭でも、子どもたちの危機回避について再度、ご確認くださいませようお願いします。

3 夏服・・・汗・・・水筒

「卯の花の匂う垣根に ホトトギス早も来鳴きて 忍び音もらず 夏は来ぬ」の童謡で

はありませんが、今年は天候不順とはいえ、季節は確実に夏に向かっていきます。この歌の卯の花は、大豆の絞りかすのオカラではなく、アジサイ科の低落木のウツギの花のことだそうです。



それはさておき、暑くなって夏服に着替えます。どうしても汗の出やすい季節です。汗拭き用のタオルを用意していただけるとよいと思います。また、汗が出ると同時に、水分補給も大切になりますので、水筒の用意をお願いいたします。ただし、水筒の水はあまり凍らせないほうが体にいいと思います。もちろ

ろん、学校の水道水は、安全ですので、飲んでいただいて結構です。

最後になりましたが、暑い夏を迎えます。夏風などひかれませんよう、十分に健康には留意しあっていきたいと思ひます。